

いつもおしごととどくろうさまです ～苫前保育園児が勤労感謝の日の慰問～

勤労感謝の日の前日となる11月22日(木)に苫前保育園(青木久美子園長)の藤組園児7名による勤労感謝の日の慰問が行われた。

村井絵真さんより「たくさんのお菓子をいただきありがとうございます。これからもよろしくお願いします。これからもうげんきではたらいてください」と感謝の言葉を述べた後、嶋崎瑠斐くんより山田裕一副町長へ花束が手渡された。

山田副町長は「ありがとうございます。皆さんもこれから寒い日が続きますので、カゼを引かないようしっかりと保育園に通ってください」と伝え、園児にお土産を手渡した。



学習成果を住民に広く発表 ～苫前商業高等学校体験発表会～



11月23日(金)公民館で苫前商業高等学校(小笠原茂美校長)体験発表会が開催され、一般住民等が参加し開催された。

1年生から3年生までのそれぞれ学習を行った成果などについてのほか、生徒会執行部、国際交流事業の報告や商業部、吹奏楽部などの成果発表などが行われた。

3年生が札幌地下歩行空間で本町の特産品販売実習したスマイルウィンド事業の発表では、普段の授業では体験できないプライスカードやポップの作成、品出しや商品整理、チラシによる街頭PR、実際の接客など苦労しながらも役割分担のうえ実施、地元から持っていた商品をはほぼ完売した成果について発表された。

豊作・大漁に感謝 ～苫前町産業感謝祭～

11月23日(金)苫前神社で苫前町産業感謝祭が森町長や各産業団体の代表など約40名が参加し執り行われた。

この感謝祭は、1年の収穫と勤労に感謝するために、毎年行われているもので、野菜や魚などの収穫物を供え、北るもい漁業協同組合苫前支所やJA苫前町、苫前町商工会の代表が感謝文の読み上げを行った。

その後、この1年の豊作と安全を感謝、翌年に向けて景気、経済の向上を願いながら参列者全員が玉串奉てんを行った。



全日本選手権・世界選手権優勝者から剣の道を学ぶ ～NHKジュニア剣道教室～



11月25日(日)スポーツセンターでNHKジュニア剣道教室が開催され、留萌管内の剣道少年団、中学生や高校の剣道部員、そして指導者、保護者などあわせて100名が参加した。

この事業はトップアスリートの豊かな経験と卓越した技術を学び、スポーツに対する関心を高め、体を動かすことの楽しさの体験とスポーツに親しむ動機付けを目的に開催しており、本町がNHKに申し込み採択されて実現したものの。

講師は、2000年の全日本剣道選手権大会個人戦、同年の世界剣道選手権大会個人戦で優勝した喜茂別町出身の剣道家の栄花直輝さん、そして



本町出身の野崎孝史さんがアシスタントを務めた。

教室では、声の出し方や構えなど基本的なことを行ったが、栄花先生からは「集合のときに「やるぞ」という気持ちが行動に出る」と参加者にハッパがかけられると、栄花先生の「集合！」の声に緊張感が張り詰め、参加者は「ハイ」という返事とともに駆け足で集合していた。

面打ちや小手打ち、小手面などの基礎的な練習でも「大きく肩を使って」「体の軸をずらさない」「打った後にすぐに次に備えるように」といった声が響いていた。

参加者の練習後には、指導者との模範練習が行われ、真剣な打ち合いに参加者も息をのみながら凝視していた。

最後には、手ぬぐいのプレゼントや記念撮影も行われ、実りある教室だったようだ。

「社会を明るくする運動」標語コンクール入選者に賞状等を伝達

小学校の部

最優秀賞(苦前小5年) 本田 愛珠さん
 優秀賞(古丹別小5年) 仲谷 梨歩さん
 佳作(古丹別小6年) 正田 菜々美さん
 佳作(苦前小6年) 佐井 悠那さん
 佳作(苦前小4年) 竹橋 稜雅くん

中学校の部

優秀賞(苦前中3年) 高田 里帆さん
 優秀賞(古丹別中3年) 福田 怜也くん
 佳作(苦前中3年) 芳賀 史織さん
 佳作(古丹別中1年) 田淵 楓馬くん

11月26日(月)苦前小学校(岩村直幸校長)体育館で第62回社会を明るくする運動標語コンクール入選者への賞状等の伝達が行われた。羽幌地区保護司会苦前支部の野崎信輝さんと阿部俊一さんが来校、同校から入選した3名に野崎さんより賞状等の授与を行った。野崎さんは「皆さんも友達との絆を大切に学校生活を送ってほしい」と挨拶した。入選者は次のとおり。



少し早いクリスマス気分を～ブルームーンカルテットクリスマスライブ～



11月26日(月)公民館でブルームーンカルテットによるクリスマスライブが約80名の来場で開催された。いつものコンサート形式ではなく、講堂のフロアでアーティストを囲むようにセッティングされた会場で、「ザ・クリスマスソング」で、「ザ・クリスマスソング」がサンタにキスをした」などのクリスマスソングを中心に披露された。

さらに、ブルームーンカルテットのメンバー4名と本町の公民館講座ギター講座の受講者7名による共演として「サイレントナイト」「スタンドバイミー」の2曲が披露、初心者の方もいるとは思えない堂々とした演奏に大きな拍手が起った。来場された方も少し早いクリスマス気分を味わっていたようだった。

雪冷ハイブリッド式定温倉庫安全操業祈願祭

11月27日(火)雪冷ハイブリッド式定温倉庫内で同施設の安全操業祈願祭がJAG苦前町の松原幸博代表理事組合長や森町長ら来賓、関係者あわせて約40名が参加し執り行われた。

この倉庫は、近年の異常気象による気温変化により豆類の保存の際の品質管理が難しくなってきたことから、平成22年度に建設した穀物倉庫の定温化を計画、電力による冷却に加え、雪解け水を利用した湿度温度管理を行うことができる倉庫に改修、豆類の倉庫としては全国初となるもの。



家庭での本を読む習慣付けを～平成24年度読書感想文コンクール表彰式～



12月1日(土)公民館で第32回読書感想文コンクール表彰式が、応募総数62点の中で36点が入選、入選した児童生徒及び保護者などあわせて約100名が参加し開催された。

町教育委員会の池田文敏教育長は「本を読むことで違う世界に行くことなど日常生活で体験できないことができる。ぜひ本を読む習慣を」と挨拶した。入賞者一人ひとりに賞状と副賞が手渡された後、最優秀賞受賞者より作品の朗読が行われ、審査委員長である苦前中学校の外山一正校長は講評で「最優秀賞作品は本の内容を丁寧に読みとり、感じたことを自分の言葉で素直に書いており、すばらしい」と述べた。(入選者は次のとおり)

部門	区分	学校	学年	氏名	作品名	部門	区分	学校	学年	氏名	作品名
小学1年生	最優秀賞	苦小	1年	佐藤 海音	「あしたもがんばろう」	小学5・6年生	最優秀賞	古小	5年	清水 将	「米は生きている」
	優秀賞	苦小	1年	佐藤 有紗	「きれいなハッピーバースデー」		優秀賞	古小	6年	工藤龍之介	「スウィング!」
	優秀賞	苦小	1年	猪股 真央	「おかあさんのあいはつよい」		優秀賞	苦小	6年	横野 稜平	「心の森」
	佳作	苦小	1年	杉本 七海	「へんげるとぐれーてる」		佳作	苦小	6年	石川 篤司	「おじいちゃんが忘れても」
	佳作	苦小	1年	宮前 憧子	「がんばるぞ」		佳作	苦小	5年	本田 愛珠	「ぼくがバイオリンを弾く理由」
小学2年生	最優秀賞	苦小	2年	安田 衣咲	「てぶくろをかいに」	中学生	最優秀賞	古中	3年	橋場 史玖	「動物と話せる少女」
	優秀賞	苦小	2年	嶋崎 彩那	「ますだくんのランドセル」		優秀賞	古中	3年	齊藤ななみ	「夢をかなえるゾウ」
	優秀賞	苦小	2年	名畑 光晟	「子そだてゆうれい」		優秀賞	苦中	2年	金子 真彩	「きみの友だち」
	佳作	苦小	2年	水谷 綜太	「モコありがとう」		優秀賞	古中	2年	永井 星奈	「菊次郎とさき」
	佳作	苦小	2年	工藤 活稀	「やどかりどんのやどさがし」		佳作	古中	1年	永井 志聖	「南極越冬記」
小学3・4年生	最優秀賞	苦小	2年	早川 三すず	「てるちゃんのかお」	高校生	佳作	古中	3年	加藤みなみ	「フラガール3・11-つながる絆-」
	優秀賞	苦小	2年	小林 愛子	「またおいで」		佳作	苦中	2年	川村 菜以	「ホシコ」
	優秀賞	苦小	4年	鈴木 一真	「ココロ屋」		最優秀賞	苦商	3年	水戸 榛那	「失くした記憶の物語」
	優秀賞	苦小	4年	河端 美桜	「レンタルロボット」		優秀賞	苦商	3年	小澤 直哉	「心を整える」
	佳作	苦小	4年	工藤千翔星	「お父さん、牛になる」		優秀賞	苦商	3年	小野和香菜	「夢をかなえるゾウ」
小学3・4年生	佳作	苦小	3年	橋場 星宙	「学問のすすめ」	佳作	苦商	3年	藤田 祥帆	「青空の雲を」	
	佳作	苦小	4年	茂木 亮	「オロロン鳥とおじいさん」	佳作	苦商	3年	岡田 里菜	「スイッチを押すとき」	
	佳作	苦小	3年	平井 憲吾	「金本知憲」	佳作	苦商	3年	岡田 里菜	「スイッチを押すとき」	
	佳作	苦小	3年			佳作	苦商	3年	後藤 大輝	「僕たちが世界をかえることができる」	
	佳作	苦小	3年			佳作	苦商	3年			

古丹別小学校6年生に租税教室実施

12月5日(水)古丹別小学校(高谷典義校長)で租税教室が開催され、6年生11名が税金について学習した。これまで社会の授業で税金については学習してきたが、税金を深く知るために、役場税務町民課税務係より永原卓明主事を講師として招聘し実施された。

クイズ形式やアニメーションの教材DVDの視聴など小学生でもわかりやすい方法で行われたが、「小学生1人に使われている税金はいくら?」の問いで、1人当たり約100万円使われていることがわかると、児童からは「ええっ」という驚きの声が上がっていた。みんなの暮らしを支えるために税金が必要ということが、今回の教室で理解できたようだ。



とままえ町民劇「地球光りなさい!」



12月8日(土)公民館でとままえ町民劇「地球光りなさい!」(町民劇実行委員会(松岡満雄代表)・町公民館主催)公演が行われ、約300名の来場があった。

町民劇は「風受けて」「1939インディガール号」「冒険者たち」「ルドルフとイッパイアッテナ」に続く第5弾で、演出は2作目から演出を担当した苫前小学校校長の岩村直幸さんが務めた。

作品の内容は、ヤパン国の鉄道現場にUFOが着陸。宇宙人が「地球の核実験により宇宙の人が迷惑している」ということから調査に来た。そこで鉄道工夫たちと宇宙人、そして最新技術をもつ宇宙人の兵器、持ち物などを狙う首相、社長、殺し屋を交えて

て繰り広げられる物語。この脚本は、富良野塾でお馴染みの倉本聰さんの書いた脚本を使用させてもらったもの。

劇中では、感情のない宇宙人を演じたアラ、マアと鉄道工夫のギールやピッツァ、モンメたちのコミカルなやりとり、そして首相や社長、総監や刑事たちのスパイ的な演技に笑いが起こっていた。

カーテンコールでは刑事C役を演じた大串宜史さん(岡田商店(株)勤務)が「連日の悪天候の中、ご来場いただきありがとうございます。公演日の今日も午前中仕事で一番最後に会場入りしたが、仲間が温かく迎えてくれ、このように無事に舞台を終えることができました」と感謝申し上げます」と客席に挨拶、出演者と会場が一体となり「明日があるさ」を合唱、フィナーレを迎えた。



ホウイトビーチ付近でウミガメを保護



栄浜に住む千代谷由夫さんが夕陽ヶ丘ホウイトビーチ付近でウミガメを保護した。

11月24日(土)に千代谷さんがビーチを散歩していたときに、縦35センチ、横32センチの動くものを発見。近づくと逆さになったウミガメだったとのこと。そして知人に相談、北るもい漁協苫前支所に届けられた。支所では甲羅に名古屋港水族館の標識がついていたため、同水族館、稚内のノシャップ寒流水族館、北部水産技術普及所に連絡、その日のうちにノシャップ寒流水族館に引き取られた。名古屋港水族館では「暖流により北上する途中、水温の低下により体力が奪われ、苦前に打ち上げられたのでは」と述べている。

現在は、互いの水族館同士が引き取りについて連絡調整しているとのこと。

地域社会貢献事業 まちの施設を整備していただきました

苫前中学校へ室内用サッカーゴール一式贈呈

一般国道232号苫前町興津防雪柵設置他一連工事を実施している羽幌町の株式会社道北土木(森本登代表取締役)が地域社会貢献事業として苫前中学校(外山一正校長)へ室内用サッカーゴール一式を11月29日(木)に贈呈した。

贈呈式では、苫前中学校2年で生徒会長の川村菜以さんから生徒会役員に目録が手渡されました。

川村会長は「素晴らしいものを寄贈いただきありがとうございます。寄贈していただいたゴールにシュートを入れられるようにしたいです」と感謝の言葉を述べていました。ありがとうございました。



高齢者学級

65歳以上の一般町民の方を対象に、3月まで月1回のペースで、歌、レクリエーション、趣味の講座などを行います。近所の仲間と楽しみながら学びませんか？

各地域を送迎するバスを毎回運行しますので、お気軽にご参加ください。

【日 時】第2回：1月11日(金) 9:30～11:30

内容：食中毒のお話

第3回：2月8日(金) 9:30～11:30

内容：音楽を生きがいに

第4回：3月8日(金) 9:30～11:30

内容：好きなことに挑戦

※第1回は終了しました

【場 所】 苫前町公民館

【申込み】 各開催日の3日前までに苫前町公民館(☎65-4076)までお申し込み下さい。



さん喬師匠がやってくる！とままえ落語会



柳家さん喬（落語）

本格古典落語の名手として名高い柳家さん喬師匠が今年も苫前町へやってきます。

色物には、林家二楽師匠をお迎えし、本物の落語と紙切り芸をご堪能できます。お誘い合わせの上で来場ください。

と き：平成25年1月31日(木) 開演18:30

ところ：苫前町公民館

料 金：前売り

一 般 1,000円 (当日1,500円)

高校生以下 500円 (当日1,000円)

※前売りで完売した場合は、当日券はございません。

※苫前方面で送迎が必要な方は、お問い合わせください。



林家二楽（紙切り）

とままえ冬の大会兼町民スキー大会

期 日 平成25年2月3日(日) 受付 8:30 開会式 9:00

会 場 古丹別緑ヶ丘スキー場(字古丹別)

対 象 苫前町に在住もしくは通勤・通学している小学生以上

種 目 スキーの部

①上級者コース(頂上スタート)

②初級者コース(中腹スタート)

スノーボードの部

スレッドリレーの部(そり引きリレー) ※豪華景品付き

参加料 スキー、スノーボードの部：①小中学生：200円(スポーツ安全保険加入者は無料)

②一般：300円

スレッドリレーの部：①小中学生の部2人1組：無料

②一般団体戦1チーム(4人まで)：500円

(5人目以降1人追加につき100円)

申込み 平成25年1月21日(月)までに苫前町公民館へ電話または直接申し込んで下さい。

その他にも「お楽しみ抽選会」や「遊び場コーナー」「飲食(甘酒・豚汁)」もあります。



～あなたの学びを応援します～

苫前町公民館

電話 65-4076 FAX 65-3220

Email: shakaikyoiku@town.tomamae.lg.jp